

## 読み聞かせ、ブックトーク

## お話の世界を楽しもう！

新宿区立市谷小学校 編



## 対象学年・教科

- ・1～4年生・国語

## 読書活動の実践の概要

- ・毎月2回、テーマに沿ったお話の読み聞かせを行う。(年間21回実施)
- ・1・2年生の回と、3・4年生の回に分けて実施。
- ・1クラスごと、1回45分で実施。
- ・本を見せずに聞かせるお話1～2話、絵本や本を使って読み聞かせ1～2話を行う。
- ・テーマに合った本を、学校の図書室の中から10冊程度用意し、紹介する。
- ・読み聞かせをした本や、紹介した本をプリントにして配布

## 読み聞かせの主なテーマ

- ・巨人の出てくるお話
- ・かえるが出てくるお話
- ・グリム童話
- ・きつねが出てくるお話 など

## 連携した諸機関

## 読み聞かせスタッフ

## 活動の写真や、配布資料

3年生、4年生  
第1回 おはなし会

平成 23年 5月

## プログラム

おはなし 絵本	・ブドーリネク ・おおきくなりすぎたくま	おはなしのろうそく 1 福音館
------------	-------------------------	--------------------

ブックトーク — 「ブドーリネク」に関連して、キツネが出てくる本を紹介します —

- ・きつね森の山男 (こぐま社)  
年男はキツネをだしに嘘をついて、スキーを買ってもらいました。ところが森に行くときツネ達が年男の裁判を始めます。
- ・きつねものがたり (福音館)  
森番に飼われていた子狐が人間の言葉を覚え、自由を求めて逃げ出します。さて、どんな仕事をする事になるのでしょうか。
- ・父さんギツネパンザイ (評論社)  
木の下に住む狐の一家は、ケチで意地悪な三人の農夫に追い出されそうになりますが、父さんは家族を守る為に知恵を出して
- ・おじいさんのランプ (岩波)  
「こんぎつね」や「てぶくろをかいいこ」など12のお話のついでです。
- ・こぎつねルーファスのぼうけん (岩波)  
アナグマの養子になった、みなしこの子狐はアナグマの子ども達と仲良く幸せに暮らしていましたが、悪い大ギツネの為に大騒動に
- ・ふうたのゆきまつり —他2冊— (あかね)  
タクシーの運転手の松井さんが雪道で出会ったのは子狐フウタ。人間になる方法を忘れて困っていたけれど松井さんに助まされて
- ・まほうの馬 (岩波)  
森林でおらかな、キツネや動物を主人公にしたお話が12話のついで、ロシアの昔話集です。
- ・きつねのホイティ (福音館)  
ホイティは夕食にありつこうと、三人のおかみさんを次々にだましたつもりでしたが、実は……
- ・歯いしやのチュー先生 (評論社)  
ねずみの歯医者さんは「危険な動物お断り」の看板を出していますが、キツネを治療する事に、「生で食べると美味しいな」の声が、
- ・雪わたり (福音館)  
四郎とかん子は狐の紺三郎に会い、月夜の幻燈会に招待されました。「かた雪かんに、しみ雪しんこ…」と歌いながら森に入っていくと

東京子ども図書館編/  
おはなしのろうそく 1 より市谷小学校  
(図書室/安達)